

# 【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024年12月1日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術前補充療法 <input type="checkbox"/> 術後補助療法	HER+XELOX療法	21日間	規定無し	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	ハーセプチン 生理食塩液 大塚蒸留水	初回：8mg/kg 2回目～：6mg/kg 250mL 溶解用	点滴静注	初回：90分 2回目～：30分	↓																				
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
③	デキサート パロノセトロン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 100mL	点滴静注	20分	↓																				
④	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑤	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
※	カペシタビン	2000mg/m <sup>2</sup> /day	内服	1日2回朝食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

## 《注意事項・備考》

- ・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする
- ・ Cape用量：BSA < 1.36m<sup>2</sup>：2400mg/day、1.36m<sup>2</sup> ≤ BSA < 1.66m<sup>2</sup>：3000mg/day、1.66m<sup>2</sup> ≤ BSA < 1.96m<sup>2</sup>：3600mg/day、BSA ≥ 1.96m<sup>2</sup>：4200mg/day
- ・ Cape服用期間：day1 夕食後～day15 朝食後まで
- ・ HFS予防(Cape)：ヘパリン類似物質クリーム/ローション適宜使用、市販の保湿剤使用も可
- ・ HER：4コース毎に心エコー検査実施